

企業を伸ばす 地域を活かす2

〈台東区編〉

⑪

歴史ある中小企業の課題や お悩みを心を込めて支援

台東区には浅草・浅草寺や上野・恩賜公園などの観光スポットが多く、最近では海外からの観光客で賑わっています。また、上野のアメヤ横町(アメ横)に軒を連ねる食品卸売店、御徒町の宝飾店、調理機器や食器などが揃う合羽橋の道具街などが有名です。私は、プライベートで合羽橋に食器を買いに行きますが、台東区は歴史を深掘りするのが楽しくなる一番好きな街です。

同区内の投資先企業には、国産高級婦人靴メーカーのシャミオール(台東区東浅草)、75年も続いている老舗のパン屋のペリカン(台東区寿)などがあります。

街を歩いている際、気になる商品や看板を見かけたら、その会社について調べ、当社でお役に立てそうな事柄があれば、アポイントを取って訪問するように

しています。毎日、違う会社を訪れたり、まだ訪れたことのない会社について業務内容や沿革などを調べたりする中で、自分の視野が広がっていくのを感じます。なかでも経営者に話を聞いて刺激を受けることが多く、仕事がとても楽しいです。

台東区には歴史ある企業が数多くあり、それぞれの企業が、時代の変化を越えて生き残ってきた何らかの理由や強みを持っています。台東区で仕事をしていくからには、そこをきちんと聞いたうえで、当社がどうお役に立てるのかをお伝えしていくことが大切だと思います。そうする中で、経営権の安定化や経営承継、開かれた会社作りといった、業歴の長い企業でも抱えることのある課題やお悩みにお応えして行きたいです。

いま、私が制度普及とともに力を入れているのがマッチングです。「和」をテーマにしたホテルの展開を計画していた投資先企業へ、同じく投資先である静岡県の製茶メーカーをご紹介します。投資先企業同士の結びつきの中で新たな価値や相乗効果が生み出されることは、私自身のやりがいにも繋がるため、今後も取り組んでいきたいと思っています。

私は大学では会社法を専攻していました。この知識が日々の業務に生きています。中小企業に寄り添い、真っ先に相談していただけるホームドクターになる第一歩として、中小企業診断士資格取得にも取り組み、企業に愛される社員へと成長していきたいです。



東京中小企業投資育成 業務第1部

細川敦史さん(24歳)

1993年7月山形県生まれ
2017年3月同志社大学法学部卒業
2017年4月東京中小企業投資育成入社
業務第1部(東京都台東区担当)
に配属され、現在に至る